

# 月刊 JMITU **アハハ**



**12月号**

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部  
セガ グループ分会 2017年発行

**No.396**

# フレックス制度導入後

## どう変わった？

### 今現在1カ月の残業時間は

フレックス制度導入され、約4か月が経ちました。3カ月間の移行措置が終わり、実際導入前とどのように変わったのか私達労働組合で行ったアンケート回答結果を公表します。

1〜10時間	25.00%
11〜20時間	16.67%
21〜30時間	41.67%
31〜40時間	8.33%
41〜50時間	8.33%

### 導入前と導入後で

#### 変化した事

あなたの勤務先は？

・手当が無くなったことによる生活設計の見直し（下方修正）

セガゲームス 41.67%

セガインタラクティブ

58.33%

・勤務時間を減らし、今まで通りの働きをした。給与が劇的に下がった。

### 制度導入前の勤務形態

裁量労働（正社員）

83.33%

裁量労働（契約社員）

8.34%

常勤（正社員）

8.33%

・勤務時間が延び、裁量労働手当分の減給が発生。

・給与減、深夜対応等で夜遅くまで起きていても、次の日に遅く出社するという働き方ができなくなった。

・残業時間を気にするようになった。

・出勤時間が通勤時間のピーク帯になった。

・早く帰りたいが給与が減るので帰れない。午後半休をとると総労働時間がへるので実質とれない。働き方が制限されて困る。生産性の高い優秀な社員が数名離職を決意した。

・午前半休の活用で、有休を有利に消化しやすくなりました。

・残業時間が増えた。

・裁量労働手当分の最低保証（ミニマムギャランティ）が必要。旧定時間勤務の社員にも支給すれば、社員間の不平感はないと思う。

・働き方改革と言いながら、R&D職には残業を強いないと以前と同等の給料が支払われない所。

・給料のベースアップをしないことには、人は来ないし離れる一方なのを理解してほしい。

### 問題点や改善してほしいところはありますか？

・裁量労働手当の基本給への組み込み

・コアタイムが集中しており、会議室の確保が難しいです。部署ごとにバラすか、いつそ定時間制に移行してほしいです。

・今まで通り（もしくは以上）の働きで、不当に給与が引き下げられている点

・社員を第一に考えるなら、裁量労働で発生していた手当（22時間分の残業代）は据え置きで固定支払いし、22時間

を超過した分は別途支給とすべきなのでは？

・残業をしないと給料が減るところ

・フレックス時間の緩和

## その他意見

・勤務時間を減らし、これまでと同じ働きをしても給与が今までと同じにならないのは明らかにおかしいと感じます。下期評価、評価が1段階上がるだけであれば辞めたいと考えています。

・減給したため転職を検討中です。同様の方はそれなりに居ると思います。

・まともな人、力のある人から抜けているのを感じます。他人事ながら心配になります。

・業績が下がるような人件費削減は誰だつてできる。経営陣は創造は命というのは開発だけではないということを理解しているのか？いったい誰の為に会社なのか、誰にいつ利益を還元するのかを明確にして欲しい、場合によっては転職しやすけど。

## 裁量労働手当を基準内賃金に盛り込むべきではないか

私達のアンケートでも1カ月の残業が22時間以下の方が約4割います。

この人達はフレックスになり給料が減った人達です。

会社は「減る人なんて一部しかない。会社の持ち出しの方が多い」と言っていました。

会社はアンケートに答えるのは一部の反対とと思っている人しか書き込まないからとま

た言い訳しそうですが、一部でも不利益になるような事があってはならない事です。

会社は生産性の高い人には別途年末一時金にプラスすると言っていました。が実態はどうでしたか？プラスされたのも一部ではなかったでしょうか？開発は会社の命です。

裁量労働手当を基準内賃金に盛り込むべきではないでしょうか。

また、今回の年末一時金査定から、S I C、S G Cにおいては、今までの標準査定というものが無くなりました。

職場ではプラスかマイナスかのどちらかです。こんな制度でチームワークなど生まれるでしょうか？職場内のギスギス感が増すだけです。

引き続きフレックス制度について組合ではアンケートを行っていきます。

フレックス以外、新人事制度等についてのご意見も寄せてくれると助かります。

私たち労働組合だけが反対していると、よく会社に言われます。気軽にアンケート投稿お願いします。

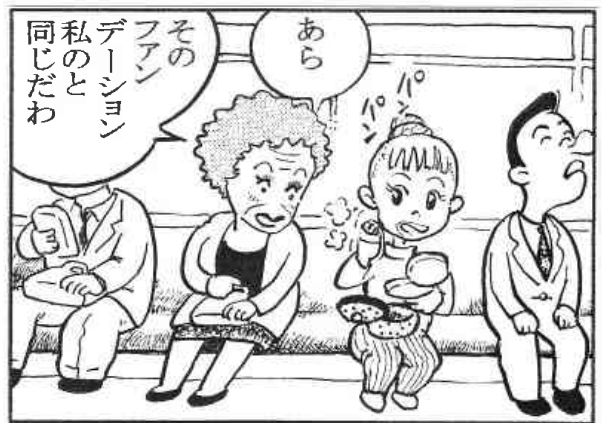
## 秋闘・年末一時金要求妥結

秋闘・年末一時金要求について会社と交渉してきましたが、今交渉においてこれ以上の進展が見込まれないという事で妥結しました。一時金係数については、J A M労組の年間協定により会社も変えることが出来ず、業績が良ければインセンティブでと回答、裁量労働手当については、支給しないという回答でした。

来年春闘にて引き続きこの件についても要求し、交渉をしていきます。

# 4こ末漫画

川崎よしき



# 社会保障費削減だけで

## 財政健全化になるのか

財務省の財政制度等審議会

が2018年度の政府予算編成についての建議を先週末、麻生太郎財務相に提出しました。「財政健全化」の為に、医療、介護、など社会保障費の削減・抑制を中心項目に据えています。安倍晋三政権の発足から5年、これまでも社会保障費には大ナタがふるわれ、国民は大きな苦難を強いられています。その予算がさらに削り込まれては、国民の暮らしとても立ち行きません。

**適正化・効率化の名のもとに  
社会保障費予算削減**

財政審の建議は、医療、介護、障害者福祉、子育て、生活保護、年金などの各分野で「適正化」「効率化」の名で予算削減を迫っています。18年度予算案の焦点である医療の診療報酬や介護報酬ではマイナス改定を重ねて求めています。人口構成の高齢化などで避けられない「自然増」を無理やり1300億円カットする為になりふり構わぬ姿勢があらわです。

財政審の要求は18年度予算にとどまりません。その後の医療や介護の制度改悪にただ

ちに着手することを主張しています。75歳以上の後期高齢者医療制度では現在1割負担が原則の患者窓口負担を2割に引き上げることを「早急」に検討せよといっています。

介護保険では「要介護1・2」の人が利用する洗濯などの生活援助の「保険外し」が「財政の観点から望ましい」と記しています。

全く道理のないやり方です。

### 応分負担こそ必要

75歳以上の人の多数は所得が低いとともに、医療機関を受診する機械が増えるのが特徴です。窓口負担が2倍化すれば、生活への打撃となり受診抑制で病状悪化を引き起こす危険が増大します。国民の健康を脅かす負担増はやめるべきです。安倍政権下で国内総生産

(GDP)に占める社会保障費

支出は13年から3年連続で減少しています。こんな事は

「構造改革」の名で社会保障費カットを進めた小泉政権でも起きませんでした。第2次政権後の5年間で1兆4600億円もの社会保障の自然増を削減してきた安倍政権の引き起こした異常事態です。

負担増でと給付減で国民から悲鳴が上がっている実態を見ようともしない姿勢はあまりにも無責任です。

### 財政健全化の一步は政党助成金廃止が先では

国民の税金を政党活動に支出する政党助成金こそが財政健全化の第一歩、献金も廃止しないでは二重取りです。

ここに手を付けず社会保障費削減は不公平です。

ショートショート

## サルとネコ

仙洞田一彦

予想もしなかったところで、予想もできないものを見かけると、一瞬何が起きたか分からないということを経験する。また、いつも見かけているのに、見えなくなると気になるものだ。

ついこの間も経験した。

JR蒲田駅に向かう時、時間ゆとりがあれば踏切を渡って、呑川沿いの道に出ることが多い。午後三時近く、陽も出ていてそれほど風もなく、歩くには具合が良い。踏切を渡ってから少し歩き、蒲田駅寄り、電子工学院近くの橋を渡る。橋を渡らないと駅から遠くなる。その橋に三十メー

トルほどという時、橋を渡ってきたものがいた。サルである。薄い灰色の毛で、都会のサルだからというわけではないだろうが、見栄えのいい印象だった。サルには悪いが、毛が薄汚れている印象を持っていた。目の前のサルはそうではなかった。

でもそう思ったのは後のこととで、

「今俺の目の前にいるのは、たしかにサルだよな」

「どうして蒲田にサルがいるんだ」

と思ったことの方が先だった。サルは橋を渡ったところであんな止まり、わたしの方を見ることもなく、向かいの家と家の間に飛び込んで行って、すぐに姿を消した。家と家の間は人が入れないくら

いであるし、もしわたしがサルを追って無理にそこに入ったら、空巢かなんかと間違えられるのがオチだろう。家の間への飛び込み方も、単に帰るような自然な気がした。

交番が近ければ行った方が良いかもしれないが、そこからは離れていた。交番に行つて帰って来たつて、サルがそこにとどまっているとは限らない。用事もある。

周りを見回しても極めて平穏な風景で、人も見かけない。サルは誰にも目撃されなかったのだろうか。それともこの近所にサルを飼っている人がいて、檻からちよつと出て散歩し、家に帰ったのなら良いだろう。凶悪犯を目撃したわけではないからなどと、自分に言い訳をしながら駅に向か

った。

夕方、日没後間もない薄明時分、蒲田に着いた。目撃したサルを思い出した。同じ道を通って帰る勇気はなかった。しかし、通つてみたい気分もあった。サルの習性など知らないが、近寄らない方がいいと思う。

それでも通つてみたい気分を抑えきれず、サルが消えた住宅のあたりが裏から見える、線路の反対側の道を通った。考えてみれば、それも浅はかである。サルなどどこに現れるのか分からないのだ。線路の幅が京浜東北線、東海道線と四本もあり、広いことは広いが、サルにとつては何の障害にもならない。

それでもその道を通り、線路を挟んで反対側の家並、と

くに屋根なども見た。それらしき動物もいなかったし、人影すら見えなかった。その日のニュースでもやっていなかった。

やはり幻か。やはりあの時、サルは家に帰ったのだ。などと思つて、そんなことも忘れて翌々日、テレビニュースで、港区にサルが現れたと報じていた。わたしが見たのと同じサルのような。もしかすると、蒲田より港区の方が食料は上等かもしれない。どのニュースか忘れたが、サルが「逃走中」と言っていた。わたしが見掛けた印象では、何かから逃げている感じがしなかった。ので、その言葉には違和感があった。

えっ、何なの？  
と思つた、もう一つの体験

は、もうずうつと前のことである。季節はいつごろか忘れてしまった。夜、品川から京浜急行の下りに乗った。乗客はまばらだったようだ。品川

を出て間もなくのことだ。わたしの隣にいた若い女性が、ふいに立って、その車両から別の車両に移って行った。立って行った女性の向かい側に座っている男は妙な顔をしていた。服装はお世辞にも良いとはいえず、不精髭を生やし、年はそれほど行っていないが、笑うでもなく怒るわけでもなく、茫然自失でもなくとにかく妙な顔をして、股を開いて座っていた。

わたしの視線が男の顔から、下の股間に移った時である。  
えっ、何なの？  
と思つたのだ。

一瞬だが、理解不能に陥る。女性が立って他の車両に移った理由が分かるまでに、時間がかかった。

わたしのようにぼうつとして歩いている者でも、目は、日常決まった風景に意外なもの加わったり、欠けるものがあったりすると反応するものだ。

家の近くには小さな公園がいくつかある。その一つで、いつも見かける女性がいた。雨の日を除く夕方はいつでも見かけると言つて良い。わたしは毎日通るわけではないが、通つた時は必ずと言つて良いほど見かけられるから、毎日いるのだろう。ネコに餌をやるためらしい。老婆というにはまだ早い年齢のようだ。ホームレスでもなさそうである。

公園は道路より少し高くなつていた。公園の出入口は腰掛けるにちょうど良いくらいの高さにコンクリートが打つてあつた。そこに腰かけていて、

傍にネコがうずくまっていた。時には女性の膝にいる時もあったが、ほんのたまにである。ネコかわいがりという言葉があるが、そんな様子でもない。だから、ネコのために来ているというわたしの推測は間違つているかもしれない。何匹ものネコが寄ってくるわけではなく、茶色の大きなトラネコ一匹である。ただ一人と一匹じつとしていただけである。急に寒くなり、見かけなくなつて十日ばかり経つ。風景から欠けてみると、ジグソーパズルの駒が外れたような気がしてくる。

## 働き方改革

長時間労働を見直そうと残業を減らし生産性の高い働き方を前面に打ち出した「働き方改革」を進める企業が増えています。

しかし、働ける時間が短くなったのに業務量が以前のままで、仕事が終わらない。仕事が終わっていなくても定時で帰らなければならない。働く時間が制限されることにより、仕事へのやりがいが減ったなど、働く現場で不満が増えています。さらに、残業代を頼りに生計を立てていた人には、これまでと比べて実際に得られる月々の収入が減り、生活が厳しくなりました。

今の働き方改革は、残業しなくて帰れる反面、働ける時間が短くなり仕事の負担が増え、残

業しない分給料が下がるという労働者のマイナス面が大きくなっています。

働き方改革の基本的な考え方は、働く人の視点に立った働き方で、働く方一人ひとりが、より良い将来の展望を持ち得るようにする。生産性向上の成果を働く人に分配することで、賃金の上昇、需要の拡大を通じた成長を図る。人生を豊かに生き、より多くの人が心豊かな家庭を持てるようになることです。

今の企業が進めている働き方改革は、経営者視点の働かせ方で、利益だけを求め、労働者の生活が置き去りになっています。もつと労働者の視点に立ち、働きやすい職場づくり、将来展望が持てる賃金にする必要があります。

### 労働組合に

入りませんか！

職場でいじめ（パワハラ）をうけている・自由に休みがとれない・残業代が支払われない・突然会社から解雇と言われた・賃金が上がらないなど、職場での悩みはありませんか。そんなときは一人で悩まずに、私たち労働組合にご相談ください。

私たちJMITU（日本金属製造情報通信労働組合）は、全国組織の労働組合です。正社員でなくても、パートやアルバイト、派遣社員の方でも加入できる組合です。働きやすい職場をつくるには労働組合が必要です。ぜひ職場に労働組合を作りましょう！

労働相談、ご意見、ご質問は、下記にお寄せください。

JMITU 本部 TEL 03-5961-5601 : FAX 03-5961-5603

ホームページ <http://www.jmiu.com/>

JMITU 大田地域支部 TEL 03-3734-3502 : FAX 03-3734-3534

ホームページ <http://www6.plala.or.jp/JMIUOOTA/>

セガグループ分会ホームページ <http://www.jmiusega.com/>